

## 創世記 第1章 26節

神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて、彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するように。」

あるとき若者に電話をしなければならない事態になった。彼の母親を知っていることから必要に迫られ電話を試みた。最初から電話ではどうかと思い、先ずはメールを流した。そうしたら彼のほうから電話があった。その声を聞いて母親似であることに驚かされた。既に他界された父親も知っていたが、彼の声はまぎれもなく母親似であった。親子はここまで似るものだとなかなか感動させられた。

そこで聞くみことばに驚く。人は神に似せて造られた。神であるわれわれのかたちとして造ってくださった。そのように造られた人。どれほどの愛情を込められてかたちづくられたのが驚くばかりである。人が人であること自体、自然なことではなく、自明のことでもないのである。どのように似せてか細かく述べないが、すべてのものを支配するように、との結びに一つのヒントがあるような気がする。この支配は神の下、すべてを管理するように、と言い換えることができる。

ただ、驚きべき事実は、神が人をご自身のかたちとして、似せて造られたということだ。

2022年12月8日